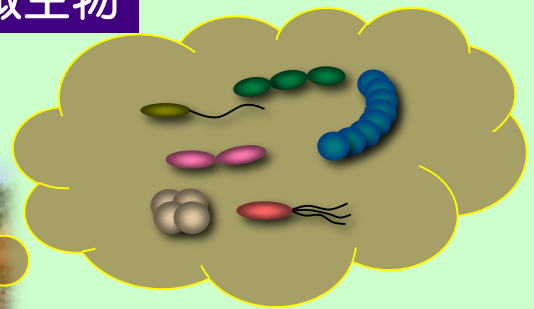


氏名・職名	田中 靖浩 准教授	
キーワード	環境微生物学(難培養性微生物の分離・培養、バイオレメディエーション、有用物質生産)	
ホームページ	<a href="https://evtanaka.blogspot.com/">https://evtanaka.blogspot.com/</a>	
所属学会	日本生物工学会(1994年)、日本農芸化学会(1995年)、日本微生物生態学会(2003年)、日本水環境学会(2005年)、日本水処理生物学会(2011年)等	
受賞歴	日本水処理生物学会 第14回論文賞(日本水処理生物学会)(2011年)	
研究者から一言	従来の技術では培養が困難な“難培養性微生物”の分離・培養技術に関する研究を進めています。“難培養性微生物”の中には系統分類的に極めて新規な微生物が多数含まれています。有用物質生産や環境修復技術などに利用可能な新規微生物資源の探索に興味のある方はご相談ください。	

## 難培養性微生物



いろいろな環境サンプル

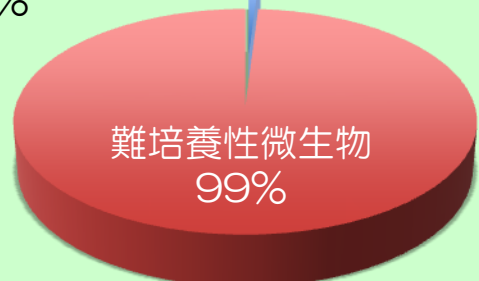


たくさんの微生物がいる

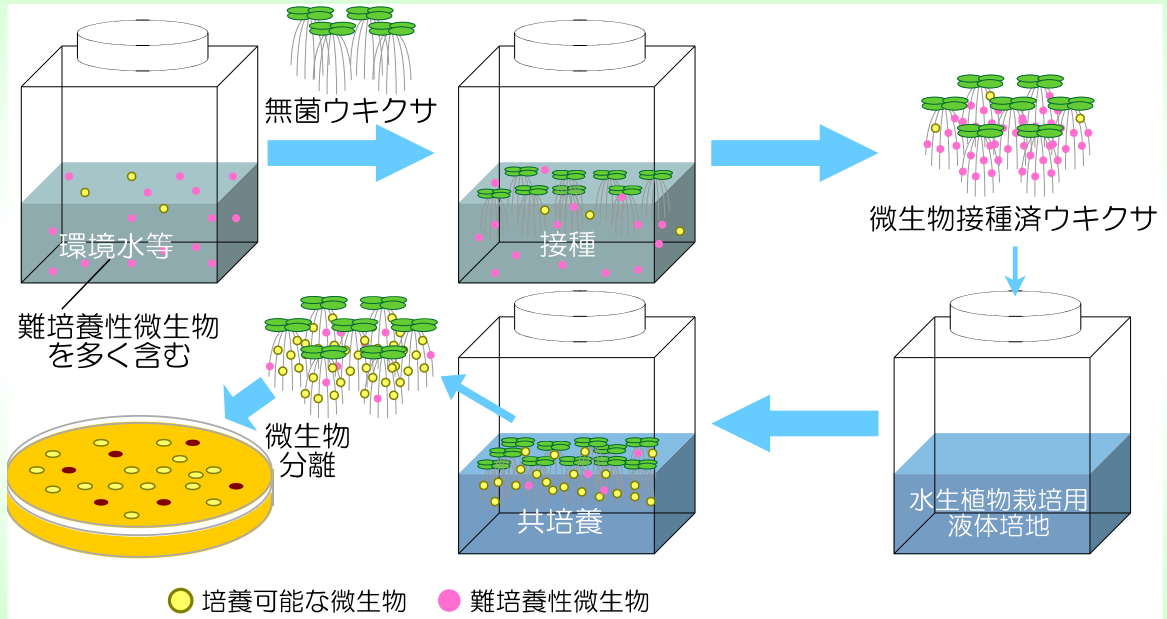


環境サンプル	培養率 (%)
海水	0.001~0.1
淡水	0.25
活性汚泥	1~15
底泥	0.25
土壌	0.3

培養可能微生物  
1%



# 難培養性微生物分離・培養技術 ～ウキクサ-微生物共培養法～



無菌のウキクサに微生物源を接種し共培養することで多数の新規微生物（難培養性微生物）の取得が可能となる（特願：2008-38090号）

## 門レベルで新規な微生物の分離・培養に成功！



ヨシの根から門レベルで新しい微生物の分離培養に成功！

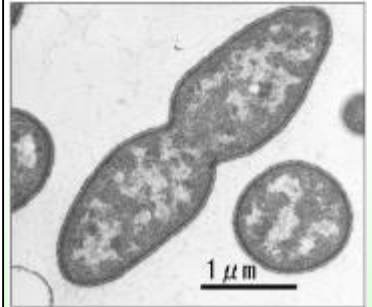
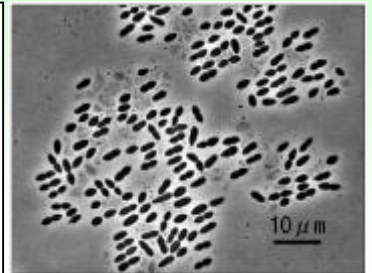
**Armatimonas rosea**  
と命名

**「門」レベルの細菌発見**

慶大研と山梨大が培養 水生植物根圏に生息

慶應義塾総合研究所と山梨大学が共同で、水生植物根圏に生息する細菌の分離培養に成功した。発見された細菌は、門レベルで新規な細菌として命名された。この細菌は、水生植物根圏に生息する細菌であり、環境中の細菌と異なる特徴を持つことが確認された。この発見は、水生植物根圏の微生物多様性を明らかにし、環境微生物学の発展に貢献するものと期待されている。

発見された細菌は、門レベルで新規な細菌として命名された。この細菌は、水生植物根圏に生息する細菌であり、環境中の細菌と異なる特徴を持つことが確認された。この発見は、水生植物根圏の微生物多様性を明らかにし、環境微生物学の発展に貢献するものと期待されている。



化学工業日報  
(2011年6月2日)

シーズについてのお問合せ、ご相談先  
E-mail: renkei-as@yamanashi.ac.jp  
Tel: 055-220-8758 Fax: 055-220-8757

